



惜別、三鷹跨線人道橋

F15号 油彩

尾本 政一（大8）

たまたま社宅のあつた三鷹に住みついて50年になりますが、子育ての頃によく散歩に出かけた電車庫の跨線橋が、近々撤去されることになりました。古いレールで組み上げられた如何にも昭和初めを偲ばせる建造物です。

近所に住んでいた太宰治お気に入りの散歩場所だつたと伝わっています。

また一つ昭和が消えていくとの情報で、あわてて油絵に描きとめておくことにしました。夕日・富士山・幼児連れの取り合せという少し創作を入れて仕上げました。